

《グラフィック》

臨海合宿(5・6年)

けいこ(造形)

《序文》

今年の臨海合宿で私が学んだこと

菊崎泰枝(1)

《主題》

「個の学びを支え、つなげる『奈良の学習法』」

→単元の本質を見極めて、個の学び・共同の学びをつくる

「奈良の学習法」で育つ個の学習能力

新しい「奈良の学習法」の研究構想I

杉澤 学(4)

「けいこ(算数)」における個の学びを支える指導

河田 慎太郎(10)

《特別寄稿》

学級集団が主体的に学んでいくために

→薄田学級の学びのようすと卒業論文(空石論文)を手掛かりに

矢野 博之(16)

◆子ども記

自分の健康をみつめ、よりよい生活を目指して

辻村 琳(22)

《実践》

いろいろな動きをつくろう(4年生)

→器械運動における本質的な学びを考える

阪本 一英(24)

「おしらべ」から「探究」へ

→二年・しごと「なるほど・ザ・学園前」①

薄田 太一(30)

本当のなかよしを目指して

もっと もっと かんがえたい →なかよしをつくろう →一年月組

中垣 州代(36)

理科学習を根拠とし、災害時に自ら判断できる子どもの育成

→第五学年 大雨とわたしたちのくらしを結び付ける学習を通して

長島 雄介(42)

リズムを組み合わせて曲作り

→グループワークでの創作活動

中村 征司(48)

給食の献立を考えよう(六年)

→食に関する学習「けいこ(家庭)」と連携して

太田原 みどり(54)

◆なかよし 子どもが中心となってつくりあげる運動会

武澤 実穂(60)

《実践寄稿》

テープ図を「思考の道具」「説明の道具」として活用できる

児童の育成を目指して

→2年「たし算とひき算」(東京書籍二年下)の実践より

金井 大典(62)

奈良女附小参観記(68)

会員のひろば(70)

あとがき(71)

表紙絵:服部真也、カット絵:服部真也

